

10. 俸給給料等留守宅渡ニシテ現支給應ヨリ留守部及其ノ他ノ新支給應

移管スヘキモノノ引繼ハ左ノ通り實施スルモノトス

イ現支給應ハ引繼クヘキ者新開如者ニシテ昭和十九年十一月盡日迄留守宅渡受領願ヲ受理シアル者ヲ含ムノ留守宅渡

金ヲ昭和二十年三月分迄ハ昭和十九年末度負與ヲ含ムモノトシ附テ

第ノ現支給應ニ在リテハ四月及五月分迄トス一ヲ支給ノ上關係

類ヲ留守部ニ交付スルモノトシ過誤拂ニ因ル追及返納ニシテナ一ト

盡日迄ニ係ルモノノ内未整理ノモノハ現支給應自ラ引繼ギ整理ス

前項年度末賞與ニシテ進級昇給扶養家族數ノ異動等必要ナル異動

項アルトキハ留守部夫々之ヲ現支給應ニ通報ス

ロ前記留守部ニ交付スル關係書類左ノ如シ

新給與原簿 一部

受領 一部

變更 一部

留守宅渡連名簿 一部

其ノ他留守部ニ於テ必要ト認ムル書類 一部

前項新給與原簿受領願變更願ハ之ニ獨專部隊毎ニ軍人電屬(科目)ニ區分ス(區分編綴)留給部以外ノ支給願ヲ新支給願トスルモノシ之ヲ新給與原簿ハ新支給原簿毎ニ更ニ區分ル上ナラシムルモノトス

昭和十九年一月以降ノ転入者ノ舊所屬部隊名轉屬月日受領願等ノ送金シアルモノハ送金ノ根拠

陸並普第一九二號ニ據ラスシテ受領人ノ變更、受領人ノ住所變更ヲ實施セルモノハ其ノ變更理由及變更期日

ハ留守部ハ留守部以外ヲ新支給願トスルモノニ關シテハ新給與部ニ所要ノ記入ヲ爲シタル上之ヲ當該新支給願ノ關係者ニ交付シ領證ヲ徵ス

11. 前號ニ據リ支給願ヲ變更セラレタル者ノ留守宅渡ハ夫々新支給願ニテ昭和二十年四月分(五月分)(六月分)ヨリ留守宅渡スルモノトシ新支給願ハ受領人ニ支給願及送金要領ノ變更(特ニ前拂送金ト後拂送金ノ別)ニ付留守宅へ通報スルモノトス

12. 支給願ノ變更ヲ要セサルモノニ關シテハ現支給願第10號口紙ノ關係書類ヲ留守部ニ交付シ其ノ送金要領ノ一部ハ留守部ヨリ所要ノ記入ヲ受ケタル上受領シ受領證ヲ留守部ニ交付ス

13. 昭和十九年十二月一日以後舊支給願ニ於テ受理セル留守宅渡願届(受領人ノ住所氏名變更、扶養家族ニ關スルモノヲ除ク)ハ領テ之ヲ留守部ニ送付シ留守部處理スルモノトス

14. 遺棄遺書ハ各師團各隊區別ニ區分シ夫々本籍地、役種、兵種、徵集(任官)年、官等、級氏名、遺棄遺書ノ有無ヲ記載セル目錄ヲ附シ移管スルモノトス

15. 現ニ留守業務擔任部隊ニ在ル負傷物件ハ引續クコトナク當該部隊處理スルモノトス

16. 追送品ハ現留守業務擔任部隊ニ於テ受領シタルモノハ當該部隊ニ於テ處理スルモノトシ遺送品ハ移管ノ日以後遺骨交付ヲ行フヘキ死没者ニ關スルモノニ限り當該區司令部ニ引續キ其ノ他ハ受領部隊ヨリ留守宅

遺家族ニ交付スルモノトス

内地各部隊ハ外地ニ補充（差出）シタル軍人遺屬ニシテ内地ヲ出發セル
モ未ダ所屬轉移シアラサル者全ノ轉屬若シテ名簿悉皆又留置ニ交付ス
ルモノトシ其ノ兵符文官名簿、遺書、遺髮、俸給給與等物守宅渡等ニ關
シテハ前號ニ準シ處理ス

外地ニ在ル軍人遺屬ヲ確定ニ掌握スル爲各部隊ハ左ニ振り處理スルモノ
トス

各師團司令部、隊區司令部ハ十二月一日零時現在ヲ以テ管内ニ本
籍ヲ有シ陸軍部隊ニ編入セラレアル陸軍軍人遺屬ヲ調査官ニ付以テ
司令部ハ其ノ他ス

内地各部隊ハ十二月一日零時現在ヲ以テ下ノ軍人遺屬（外地ニ出
張中ノ者ヲ含ム）ヲ調査シ其ノ本籍地後編兵種徵集（任官）年官等級氏
名ヲ夫々本籍地隊區司令部（將官ニ在リテ本籍地司令部）ニ十二
十日迄ニ通報（各人毎別紙トス但シ用紙ハ電報トシ別ニ隊區）ス

師團司令部隊區司令部ハ上記人名ヨリ二號人名ヲ削除シ餘ヲ留守
部ノ掌ルヘキ人員トシテ昭和二十年一月十日迄ニ留守部ニ通報ス

留守業務規程成定ニ伴フ關係管會同事項

説明事項

一 留守業務規程ノ成立ト當草ヘノ正式命令トノ關係

二 留守業務規定ノ一般關係事項ニ就テ（沿革記事）

三 成立ノ趣旨及留守業務ノ變更

四 内地外地ノ定義

外地ニ在ル部隊トハ

一 留守業務管轄官ト留守部ノ編成

二 従來ノ留守業務擔任部隊ト留守部トノ關係

人員ノ補充業務ノ管理（擔任）（人員ノ派遣編遣返還患者ノ還送

業務處理 留守名簿ノ保管（人員ノ掌握、師團聯隊區トノ中継）

七 各部隊ノ業務權限

ノ外地部隊 二 内地ノ留守業務擔任部隊 三 本營聯隊司令部

ノ本營聯隊司令部

遺家族ニ交付スルモノトス

内地各部隊ハ外地ニ補充（差出）シタル軍人軍屬ニシテ内地ヲ出發セル
モ未ダ所屬轉移シアラサル者全員ノ轉屬者姓名籍番等ヲ留守部ニ交付ス
ルモノトシ其ノ兵籍文官名簿、遺書、遺髮、俸給給附等留守宅渡等ニ關
シテハ前號ニ準シ處理ス

外地ニ在ル軍人軍屬ヲ確定ニ掌握スル爲各部隊ハ左ニ據リ處理スルモノ
トス

1. 各師團司令部、聯隊區司令部ハ十二月一日零時現在ヲ以テ管内ニ本
籍ヲ有シ陸軍部ニ出入セラレアル陸軍軍人軍屬ヲ調査（師團司令部ハ
司令部ハ其ノ他ス
ニ付調査）

2. 内地各部隊ハ十二月一日零時現在ヲ以テ部下ノ軍人軍屬（外地ニ出
張中ノ者ヲ含ム）ヲ調査シ其ノ本籍地後編兵種役集（任官）年官等級氏
名ヲ夫々本籍地聯隊區司令部（將官ニテ本籍地師團司令部）ニ十二
十日迄ニ通報（各人別紙トス但シ用紙ハ通知トシ別ニ聯隊區）ス

3. 師團司令部聯隊區司令部ハ1號人名ヨリ2號人名ヲ削除シ殘餘ヲ留守
部ノ掌ルヘキ人員トシテ昭和二十年一月十日迄ニ留守部ニ通報ス

留守業務規程制定ニ伴フ關係者會同事項

説明事項

一 留守業務規程ノ成立ト當取ヘノ正式命令トノ關係

二 留守業務規定ノ一般關係事項ニ就テ（拔萃記事）

三 成立ノ趣旨及留守業務ノ變更

四 内地外地ノ定義

五 外地ニ在ル軍隊トハ

六 留守業務管理員ト留守部ノ關係

七 補充ノ留守業務擔任部隊ト留守部トノ關係

八 人員ノ補充業務ノ管理（擔任）人員ノ派遣處置患者ノ送送

九 業務處理 留守名簿ノ管理（人員ノ送送、師團聯隊區トノ關係）

十 各部隊ノ業務處理

十一 内地部隊ト内地ノ留守業務擔任部隊

十二 本籍地聯隊區司令部



戰時死者及歸投者(以下單二事故者下稱又)アサブル

昭和十九年十月一日 陸軍大臣 杉山 元

戰時死者及不明者報告規程

第一條 戰時又ハ有事變之際ニ陸軍軍人軍屬爲ニテ死亡者

生死不明者及歸投者(以下單二事故者下稱又)アサブル
トキハ本規程ニ依リ報告又ハ通報ヲ爲スルトス

第二條 本規程所屬部隊ニ於テ死亡者ハ報告又ハ通報ヲ爲スル

電報(海陸軍一様式)ヲ以テ四十八時間内(已ムラバサレモトモ多ク成ルニ速カク)ニ報告
又ハ通報ヲ爲スル

業務擔任部隊ハ速報スルモトス

第三條 前條ノ報告又ハ通報ヲ爲スル者ハ左ノ諸事項トス

一 死亡時ノ所属部隊之部隊長 但シ復員復歸(關鎖等

爲シタル)得サレ場合ハ當該部隊ノ復員(復歸)擔
任或ハ留學業務擔任部隊長ニ對シテ得

昭和十九年十月一日



三 所屬部隊長以下全員死亡シタル場合ニ在リテハ其直屬
上級部隊長若シテハ指是セラルル部隊長

第四條 事故者(部隊)其ノ所屬部隊(直屬上級部隊)ニ
在ラルトキハ各號、部隊長ハ第ニ條ニ準シテ速ニ事故
者ノ所屬部隊長ニ通報スルモノトス、但シレバ得ヤル場合
ニ在テハ留守業務擔任部隊長ニ通報ス
一 分(派)遺又ハ配屬セラルル場合ニ在リテハ分(派)遺又ハ
配屬ヲ受ケタル部隊長

ニ 輸送中ノ場合ニ在リテハ輸送指揮官、軍市鉄道(船舶)
機関長又ハ兵站地、長但シ航空機ニ依リ輸送中ノ
場合ニ在リテハ航空路指揮官區長又ハ最寄可軍市機関長

三 衛生機関ニ在リテハ其ノ機関長
四 拘禁中ノ場合ニ在リテハ其ノ機関長

第五條 留守業務擔任部隊長ハ第ニ條ニ規定スル通報ヲ受

在リテハ本籍地師團長 兵部部ノ所管スル、軍司令官ノ命令以下同、ニ 其ノ他ニ在リテハ本
籍地隊隊区司令官 以下同シ、ニ 初階、スルモノトス

第六條 本籍地師團長又ハ隊隊区司令官前条ノ通報ノ受
ケルトキハ速カニ死亡告知書、死亡報告書、戦時死亡者生死
不明者名票(以下單ニ名票ト稱ス)及死亡證明書ヲ調製シ
シ左記各號、手続ヲ爲スモノトス

一 戦死者 戦死(死亡)確認書又ハ本籍地又ハ天災ニ
因ル死亡者ニ在リテハ死亡告知書ハ附録第ニ様式(第一記例)
ニ依リ留守担当者ニ通報スルト共ニ死亡報告書ヲ附録
第ニ様式)ニ依リ本籍地市町村長ニシテ籍法第百十

分九条ニ據ル通報(報告)スルモノトス
ニ 同號以外ノ死亡者ニ在リテハ本籍法第百十六條ノ死亡
出、為 死亡告知書(附録第ニ様式第一記例)ニ死亡證明
書(附録第ニ様式)ヲ添附シ留守担当者ニ通報スルト共

二 所屬部隊長以下全員死亡の場合ニ在リテハ其直屬
上級部隊長若シテ指是セヨトシテ部隊長

第四條 事故者(部隊)其ノ所屬部隊(直屬上級部隊)ニ
在リテハ左ノ各號、部隊長ハ第三條ニ準テ送ルニ事女
者ノ所屬部隊長ニ通報スルコトス、但シテハ得ヤル場合
ニ在リテハ留守業務擔任部隊長ニ通報ス
一 命(遺)又ハ配屬セヨトシル場合ニ在リテハ命(遺)又ハ
配屬ヲ受ケル部隊長

二 輸送中ノ場合ニ在リテハ輸送指揮官(軍市鉄道)船艦
機関長又ハ兵站地長、但シ航空機ニ依リ輸送中ノ
場合ニ在リテハ航空路管區長又ハ最守軍市機関長

三 衛生機関ニ在リテハ其ノ機関長
四 拘禁中ノ場合ニ在リテハ其ノ機関長

第五條 留守業務擔任部隊長ハ第三條ニ規定スル通報ヲ受

在リテハ本籍地師團長 兵事部ノ所管スル
軍司令官ノ場合以下同 其ノ他ニ在リテハ本
籍地隊区司令官 兵事部長ノ場合
以下同 二 柳牒スルコトス

第六條 本籍地師團長又ハ隊区司令官前条ノ通報ヲ受

ケタルトキハ速カニ死亡告知書(死亡報告書)戰時死亡者生死
不明者名票(以下單ニ名票ト稱ス)及死亡證明書ヲ調製衣
シ左記各號ヲ手続ク爲スルコトス

一 戦死者 戦死(死亡) 確認者又ハ水難火災等ノ天災ニ
因ル死亡者ニ在リテハ死亡告知書(附録第ニ様式第一記例)
ニ依リ留守担当者ニ通報スルト共ニ死亡報告書ハ附録
第三様式)ニ依リ本籍地市町村長ニ本籍法第百十

第九条ニ據ル通報(報告)スルコトス

二 同號以外ノ死亡者ニ在リテハ本籍法第百十六條ノ死亡届
出、為死亡告知書(附録第ニ様式第一記例)ニ死亡證明
書(附録第ニ様式)ヲ添附シ留守担当者ニ通報スルコト共

ニ死七告知書日(附録第一様式第一號例)、場、市、町、村
長ニ送付ス

三名票(附録第四様式)ニ通テ以テ(隊、隊区司令官ニ在リテハ
之ヲ所管長官ニ報告シ)師團長ハ之ヲ陸軍大臣ニ
送達ス

〇第七系

七

第八系 恩給法ニ規定スル退職又ハ解任解備セラレタル者
ニシテ戦役又ハ事變勤務ニ起因シ傷痍ヲ受ケ疾病
ニ罹リタル日ヨリ三年以内ニ死セシタルトキハ事故者、本籍
地所管師團長、隊区司令官ハ第六系第四號ノ手
続ヲ爲スモノトス

第九系

陸軍軍屬ニ非ナル者ニシテ部隊ニ屬シ命令ニ依
リ戦役又ハ事變勤務ニ服シ之ニ直接起因シテ死セシ
又ハ生死不明トナリタルトキハ關係部隊長ハ前各系ニ
準シテ続ヲ爲スモノトス

九

第十條 事故者ニテ留守業務擔任部隊ヲ有セザル部隊
ニ関スル場合ニ在リテハ本規程ニ定ムル留守業務擔任部
隊長ノ爲メキ報告又ハ通報ハ當該部隊長ニ於テ
本規程準シ之ヲ爲スモノトス

附則

本規程ハ昭和十九年十二月ヨリ之ヲ施行ス
本規程施行際從前規程手續未了ノ者ニ對シ
テハ本規程ニ據リ之ヲ處理スルモノトス

昭和十七年陸建第四十六號 昭和十二年陸支普第八號
同十五年陸普第七四〇號 同十七年陸普第八〇號
同年陸普第三四號 同年陸支普第六號 同年陸支普
第一〇三號、同年陸支普第一四二號ハ之ヲ廢止ス

(發給番號)

留守兼務擔任部長 殿

步兵第何聯隊長

何縣何郡何村何番地 ○中尉(大)一〇、一、五一スマトラ」附近ニ於テ

貫通銃創ヲ受ケ戦死八月八日二十時十分殊勳甲 殺伐如中

何縣何郡何村何番地(三級)何某(大)ニム「ビルマ」附近ニ於テ

貫通銃創ヲ受ケ戦死九月九日五時五分勳功特

一月二日ノ生死不明若上等兵何某一スマトラ島ハレンバン」附近ニ於テ

死体發見戦死ト認定一月二日殊勳甲

何縣何郡何村何番地○曹長何某(大)一〇、二五月七日「バギオ」ニ於テ胸

部貫通銃創ヲ受ケ「マニラ」第六兵站病院ニ於テ戰傷死五月十日六時五

分勳功甲主任軍醫何某

何縣何郡何村何番地伍長何某(大)一〇、一五月八日「ウエワ」ニ於テ

八〇)ニ罹リ第七兵站病院ニ於テ(一六二)戰病死六月十九日九時十分

勳功乙主任軍醫何某

何縣何郡何村何番地兵長何某(大)一〇、一五月九日「ラバウル」ニ於テ胸

部砲彈破片創ヲ受ケ第八兵站病院ニ於テ(一六六)戰病死七月十三日十

七時五分勳功甲主任軍醫何某

何縣何郡何村何番地傭人何某(大)一〇、一五月十日(六〇)五、三年)「ウ

エワク」ニ於テ頭部貫通銃創ヲ受ケ戦死七月十五日勳功乙

講要上ノ注意

一、本様式ハ電報又ハ電報ノ一例ヲ示スモノニシテ電報ニ在リテハ

ハ省略スルコトヲ得書類ニ在リテハハ兵站病院ニ於テハ

貫通銃創ヲ受ケ死亡事由等ハ成ルヘク詳細ニ記載スルモノトス

三、記載順序

本籍地、死亡時ノ官等級及死亡後ノ官等級、氏名、生年月日、死亡

囑託ニ在リテハ其ノ待遇ヲ「高六待遇」ノ如ク給養人ニ在リテハ給養、
勤務年數ヲ一六〇歳ニ三年ノ如ク記載スルモノトス
進級上申中ノモノニシテ進級發令セラレタル時ハ遂カニ新官格等ヲ
報スルモノトス

六 氏名、生年月日

何某 大ニニニノ如ク記載スルモノトス

七 死亡場所

電報ニ在リテハ死亡シタル場所ノ地名、船名、病院名等ノミヲ記載シ
類ニ在リテハ成ルヘク詳細ニ記載スルモノトス

八 死亡區分

昭和十三年醫者第六三三一號及昭和十九年醫者第二六〇九號ニ據ルモノ
トス但シ感地及ハ尋常感地外ニ於テ不慮ノ事故ニ依リ受ケタル傷疾ニ起因
スルモノハ不慮死トス

時區軍報告規程(醫務)第二號及戰時衛生勤務令附表 十八ニ依リ單一病名
ニシテ病名を擬符號ニ該當スルモノハ「(六三)」ノ如ク記載ス但シ
戰時衛生勤務令ニ據リタル場合ニ在リテハ番號ノ上郡ニ「(〇五)十五
」ノ如ク〇印ヲ附シ區分ス」ヲ記載スルモノトス

九 死亡年月日時

死亡時間不詳ノモノニ在リテハ省略スルコトヲ得

十 功績等級

姓名〇?

殊勳甲、乙勳功、特甲乙功勞、慰勞金ノ如ク記載スルモノトス

十一

戦死(死亡)確認以外ノ死亡者ニシテ種類ヲ以テ報告スル際死亡證
書、死亡診斷書及死体検査書ヲ添附シ得サル場合ニ在リテハ必ス主任
軍醫ノ氏名ヲ明記スルモノトス

十二

戦傷、戦病ヲ合併スルモノハ種類ニ在リテハ成ルヘク轉症兼發等ノ
經過ヲ簡潔ニ記載シ戦傷死戦病死ノ別ヲ明確ニ區分スルモノトス